

BIMを活用した建築生産・維持管理プロセス円滑化モデル事業(新規)(案)

令和2年度予算案：200,000千円

建築分野において生産性向上に資するBIMの活用を促進するため、設計・施工等のプロセスを横断してBIMを活用する試行的な建築プロジェクトにおけるBIM導入の効果等を検証する取組みを支援する。

支援対象

有識者、関係団体等から構成される建築BIM推進会議で策定された「建築分野におけるBIMの標準ワークフローとその活用方策に関するガイドライン（第1版）」（令和2年3月）に沿って、BIMを活用する試行的な建築プロジェクトについて実施される、以下の効果検証等の取組みに要する費用を支援する。（検証に直接必要となる人件費等）

- ①ガイドラインに沿って行われるプロジェクトにおける、BIM活用による生産性向上等のメリットの検証等
- ②関係事業者が、ガイドラインに沿ってBIMデータを受渡し等しつつ連携するにあたっての課題の分析等

※既に実施済みのプロジェクトについて、改めてBIMを活用して検証するものを含む。

※新築工事に係るプロジェクトだけでなく、増改築工事に係るプロジェクトを含む。

※プロジェクト全体の効果検証等だけでなく、その一部分（例：設計・施行等のプロセス間、又はプロセス内等）の効果検証等を含む。

補助率等

- 補助額：定額
- 補助事業の期間：最長3年まで
（ただし毎年度応募・採択が必要）
- 成果物：検証等結果を報告書にまとめ、公表

応募資格

- 民間事業者等
※検証等の対象となる建築プロジェクトの発注者等の了解を得ていることが必要です。

公募のスケジュール等（予定）

- 公募期間
4月中旬～5月中旬（予定）
- 応募プロジェクトの審査・選定
応募プロジェクトについては、有識者により構成される審査委員会における審査の結果を踏まえて、支援対象となるプロジェクトが選定されます。